

学校だより



わかば かおる

# 若葉かおる学園

心ゆたかな子ども (よく考える子ども 力を合わせる子ども 健康で明るい子ども)

令和3年 12月 1日発行  
練馬区立大泉学園小学校  
練馬区大泉学園町4-7-1  
TEL 03-3923-0006  
FAX 03-5387-2193

「ほめる言葉」を豊かに使うことができる子供に

校長 加賀田 真理

11月26日(金)・27日(土)に展覧会を行いました。大勢の皆様のご来場に心より感謝申し上げます。また、鑑賞できる時間帯・入場人数の制限や検温等にご協力いただき、ありがとうございました。今回の展覧会は、作品制作の段階から例年とは異なる様々な制限がありました。9月の段階でも午前授業の中で進めなければならないなど、一時は来場していただくことができるかどうかの心配をしたこともありましたが、無事に保護者の皆様への公開も含めて実施することができて、ほっとしております。会場となった体育館には、様々な表現方法で作成された個々の子供たちの感性の結晶とも言える作品が、各学年の発達段階に依りて、個性豊かに輝いていました。作品を作り上げた喜びと共に、友達の作品を互いに見合う楽しさもたくさん経験できたのではないかと思います。友達の作品に目を輝かせたり、ご家族の方と一緒に来場して、誇らしげに自分の作品を紹介したりする子供たちの姿に、ほほえましさや展覧会という行事のよさを、私も改めて感じる機会となりました。鑑賞されている保護者の方から「どの作品もすてきだね。」とつぶやかれていた声が聞こえてきたことも、とてもうれしく思いました。

展覧会のよいところのひとつは、多様な評価の観点があること。また、ひとつの評価の観点の中で、両極にあるどちらの方向性の作品であっても、よさを見つけられることではないかと考えています。たとえば数や色に着目すれば「たくさんでカラフル」「無駄がなくシンプル」、形に着目すれば「シャープな直線がすごい」「やわらかな曲線がすてき」、大きさに着目すれば「大きくて迫力がある」「小さくて細やか」など、まったく反対の表現となっても、それぞれの作品のよさや個性を認め合うことができます。

しかし学習や日常生活の中で友達をほめようとしても、子供たちは意外と「ほめる言葉」についての語彙をあまりもっていない場合があります。もしかしたら、我々大人が普段使っている言葉も、「〇〇が違う」、「〇〇ができない」、「〇〇が足りない」などの、間違いや不足を指摘する表現が多くなっており、「ほめる言葉」の語彙は少ないのかもしれない。展覧会をきっかけに、互いの作品を見合うことで、友達の作品や、その友達のよいところを見つける目を育てることと同時に、それを表現する「ほめる言葉」の語彙を増やすことにつなげていきたいと考えています。今回の展覧会直前の昼の校内放送では、「ほめる言葉を増やしていこう。」と子供たちにも呼びかけました。「ほめる言葉」が増えるということは、肯定的な態度で多面的な見方ができるということであり、それは感性が豊かになっていくことにつながると思います。作品鑑賞で培ったよいところを見つける目を生かし、その感動を言葉で表現することを通して、日常生活の中でも友達や自分のよさをたくさん見つけ、それを言葉で表現してくれることを願っています。

「ほめる言葉」、「励ます言葉」が校内に一層増えていくよう、取り組んでまいります。ご家庭でも、子供たちの作品や、ひたむきに作品に向き合った子供たちの姿勢をたくさん称賛していただき、「ほめる言葉」が豊かになっていくことにご協力いただければ幸いです。

えが ほ かたど もど あきらっき  
描く彫る 象る擬く秋落暉

玄月

## 12月の予定



1	水	委員会 安全指導 就学時健診 (欠席者)
2	木	保護者会 (5・6年)
3	金	避難訓練 保護者会 (3・4年・ひまわり)
4	土	
5	日	
6	月	クラブ (5校時)
7	火	長なわ旬間 (始) 保護者会 (1・2年)
8	水	
9	木	連合音楽鑑賞教室 (5年)
10	金	しめ縄作り (5年)
11	土	土曜授業 (授業参観あり)
12	日	
13	月	クラブ
14	火	社会科見学 (6年)
15	水	
16	木	ゲーム集会
17	金	長なわ旬間 (終) しめ縄作り (5年)
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	遠足 (ひまわり)
23	木	
24	金	2学期終業式 (5時間授業)
25	土	
26	日	冬季休業日 (始)

## 1月



7	金	冬季休業日終
8	土	3学期始業式 安全指導 3時間授業 給食なし
9	日	
10	月	成人の日
11	火	給食 (始) 委員会 (6校時)
12	水	発育測定 (1・2年)
13	木	発育測定 (3・4年)
14	金	校内書き初め展 (始) 発育測定 (5・6年)

## ふれあい月間の活動について

生活指導部 長瀬 育

11月は、ふれあい月間として活動に取り組みました。ふれあい月間とは、「いじめの撲滅」や「人権の大切さを学ぶ」といった学校生活を送るうえでの人間関係に欠かすことのできない事柄を、みんなで考える期間です。具体的には、学校全体で以下のことを行いました。

### 【生活アンケート】

全児童を対象に、普段の生活やいじめに関する調査アンケートを行いました。アンケートの内容をもとに個別の面談や聞き取りを行い、子供たちが抱えていた問題の解決に努めました。今後困ったことがあったら、遠慮なく教師に伝えてほしいと話しています。

### 【いじめ防止シンボルマークの作成】

練馬区では「いじめ一掃プロジェクト」を行っています。その一環として、「いじめ防止シンボルマーク」の作成に取り組みました。子供たちのアイディアや発想で、いじめ防止に向けたシンボルマークを作成しました。シンボルマークを通して、いじめを防止する気持ちを育み、明るく楽しい生活が送れるよう指導を行いました。

子供たちが「いじめ」について改めて考えることを通して、今後いじめを許さない心をもてるようにし、明るく楽しい生活が送れるようにしたいと考えています。

## 短なわ旬間

体育部 大西 真理佳

10月25日(月)～11月5日(金)は短なわ旬間でした。本校では、毎年なわとびを用いた体力向上月間を設定しています。今年度も、個人で行える短なわに取り組みました。短なわは、巧緻性、持久力が高められます。

基本編から応用編までいろいろな技に挑戦したり、回数を伸ばしたりしていけるように、子供たちには学園小なわとびカードを配布しました。短い期間ではありますが、毎日の20分休みの取組を通して、体力の向上はもちろん、自己記録を伸ばしていこうとする子供たちの姿が見られ、よい運動習慣につなげることができました。

## ユニセフ募金

代表委員会 荒井・内川・野邊地

11月15日(月)～17日(水)の3日間、今年もユニセフ募金を行いました。11月10日(水)には、代表委員会によるユニセフ集会を行い、Google meetを活用した紙芝居形式で、世界の子供たちの置かれている状況が日本とは違うこと、そんな国の子供たちのために私たちができることを伝えました。ユニセフ募金にご協力をいただき、ありがとうございました。

## 下田移動教室

6年担任 大西 真理佳

11月17日(水)～18日(木)の一泊二日で下田移動教室に行ってきました。下田海中水族館の見学、釣り体験、キャンドル・ファイヤーなど、今の下田で行える体験を十分に満喫することができました。子供たちが決めた移動教室のスローガンは、「出会った人みんなに感謝の言葉を伝えよう」です。日数は短くなってしまいましたが、一人一人が活動に進んで取り組み、感謝の気持ちをもちながら自分の役割を果たすことができていました。

卒業までの4か月、移動教室で学んできたことを生かしながらい人一人のよさがさらに発揮できるよう応援しながら指導、支援を行っています。

**12月 生活目標: 当番や係の仕事をしっかりやろう**  
**保健目標: 正しい手洗いを身に付けよう**